

地域福祉計画・社会福祉協議会地域福祉活動計画
令和元年度事業評価検証シート

令和2年12月

会津若松市
社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会

目 次

市地域福祉計画・社会福祉協議会地域福祉活動計画総括図	1
市地域福祉計画・社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート	2
基本目標 1 地域福祉の理解を深め、担い手を育てる地域づくり	2
基本目標 2 地域の中での支え合い、助け合いがある地域づくり	9
基本目標 3 いつまでも安心、安全に暮らせる地域づくり	15
基本目標 4 健康でずっといきいき暮らせる地域づくり	31
基本目標 5 福祉サービスの充実した地域づくり	35
地域福祉計画評価シート（重点的取組）	40
重点的取組 1 地域福祉活動の基盤となる地域の仕組みづくりの推進	40
重点的取組 2 災害時避難行動要支援者に対する日常的な見守り体制	41
重点的取組 3 生活困窮者自立支援の取組	42
地域福祉活動計画評価シート（重点事業）	43
市地域福祉計画・社会福祉協議会地域福祉活動計画全体評価	44
会津若松市地域福祉計画等推進会議委員名簿	45

市地域福祉計画・社会福祉協議会地域福祉活動計画総括図

市地域福祉計画・基本目標1

地域の理解を深め、担い手を育てる地域づくり

- ・『地域福祉フォーラム』による地域福祉への理解促進

社会福祉協議会地域福祉活動計画・基本目標Ⅰ

地域を支える人づくり

- ・『ボランティア学園』によるボランティアの養成

評価

- 地域福祉の理解促進や担い手育成の継続化

市地域福祉計画・基本目標2

地域の中での支え合い、助け合いがある地域づくり

- ・地域の課題把握と連携・協働による地域づくり

社会福祉協議会地域福祉活動計画・基本目標Ⅱ

互いに支え合うつながりづくり

- ・地区社会福祉協議会の組織化

評価

- × 活動参加につなげる仕組みの強化が必要

市地域福祉計画・基本目標3

いつまでも安心、安全に暮らせる地域づくり

- ・生活支援コーディネーターの配置

社会福祉協議会地域福祉活動計画・基本目標Ⅲ

誰もが安心・安全に暮らせる環境づくり

- ・地区社協による子育て・高齢者支援

評価

- 様々な場所を活動拠点とする検討が必要

誰もが安心して暮らせるよう
地域で支え合うあいづわかまつ

【市地域福祉計画】

基本理念

一人ひとりが思いやり
みんなで支え合うあいづわかまつ

【社会福祉協議会地域福祉活動計画】

市地域福祉計画・基本目標4

健康ですっといきいき暮らせる地域づくり

- ・ICT オンライン診療の普及支援

社会福祉協議会地域福祉活動計画・基本目標Ⅳ

誰もが安心・安全に暮らせる環境づくり

- ・介護予防などの支援

評価

- 健康づくりによる健康寿命の向上の継続化

市地域福祉計画・基本目標5

福祉サービスの充実した地域づくり

- ・関係機関との連携による相談体制の強化

社会福祉協議会地域福祉活動計画・基本目標Ⅳ

ふくしのネットワークづくり

- ・総合生活支援事業の充実

評価

- 地域における相談体制の在り方の検討が必要

市地域福祉計画・重点的な取組

- ・地域福祉活動の基盤となる地域の仕組みづくりの推進
- ・災害時避難行動要支援者に対する日常的な見守り体制
- ・生活困窮者自立支援の取り組み

社会福祉協議会地域福祉活動計画・重点事業

- ・地区社会福祉協議会の設立・運営支援
- ・身近な相談窓口の開設
- ・地域支援コーディネーターの育成・配置
- ・多様なネットワークの構築

評価の記号について

- …高評価・継続が必要
- ×…低評価・取組の強化・変更が必要
- …意見

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本理念「誰もが安心して暮らせるよう地域で支え合うあいづわかまつ」

基本目標 1 地域福祉の理解を深め、担い手を育てる地域づくり						
基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
1 地域福祉の 理解促進及び福祉の心の育成	○地域との懇談会、講演会や勉強会等の開催等、地域福祉への理解促進につながる取組を実施します。	○『あいづわかまつ地域福祉を考えるフォーラム』において、地域で支えることで社会復帰につなげることをテーマに講演会を実施し、地域福祉の理解を深めました。 〔演題 ひきこもり支援と就職困難者の社会復帰に向けて 講師 NPO 法人若者就職支援協会 黒沢 一樹 氏 参加者 180 名〕	○市民の福祉意識の向上のため、各種取組を推進します。	○市と『あいづわかまつ地域福祉を考えるフォーラム』を開催し、地域福祉の理解普及に努めました。 ○地域ケア会議（協議体）やミニケア会議等（以下「地域ケア会議等」という。）において、地域住民や区長、民生委員・児童委員（以下「民生委員」）等に『地区社会福祉協議会』（以下、「地区社協」という。）の組織化を働きかけ、湊地区・河東地区に設立されました。	○地域福祉についての理解に努めます。（市民） ○地域社会を構成している一人であることを意識します。（市民） ○地域の生活課題・福祉課題について意識します。（地域の各種団体） ○課題の解決に向けて、可能な範囲で自助の取組を行います。（地域の各種団体） ○地域福祉やノーマライゼーション等に関する意識啓発に協力することや、従業員が地域活動やボランティア活動に参加することへの理解を深めることに努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者等）	○地域ごとにその地域生活課題にあった講演会や勉強会を開くことで、地域の盛り上がりにつながる。 ○課題解決に向けて、ほかの地域において成果のあった取組をまねるところから始めたい。成功事例の紹介をしてほしい。 ○学校教育の中でみんなが協力する必要性を教える必要がある。

※ 地域福祉活動の実態調査結果 …… 地域ケア会議（協議会）やミニケア会議、出前講座など地域に向いたときに、参加者から寄せられた意見。
地域ケア会議（協議体） …… 地域住民等が、支援のネットワーク構築と、地域生活課題の共有・解決に向けて協議等を行う。

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○他地域における地域活動の事例等を市民に紹介していきます。</p>	<p>○町内会の行う住みよいまちづくりに向けた取組事例をホームページや『区長会報』にて紹介しました。</p> <p>○地域福祉活動の取組事例を SNS により紹介しました。</p> <p>○『介護予防講演会』を開催し、他の地域における『ふれあい・いきいきサロン』の取組を紹介しました。</p> <p>演題：「いつまでも元気でいるために」 ～フレイル予防～ 講師：会津大学短期大学部 渡部琢也氏 参加者 101名</p>				

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○教育機関や社会福祉協議会（以下「社協」という。）との連携や、出前講座の実施等の取組等により、福祉の教育の推進や生涯学習の機会づくりに努めます。</p>	<p>○地域における学習ニーズに対応するため、『地域教育コーディネーター』の派遣を行いました。</p> <p>〔派遣数 104ヶ所〕 〔参加者 2,603人〕</p> <p>○職員が地域に出向き、市の取組について講義・説明を行う『生涯学習出前講座』を実施し、地域福祉などの啓発に努めました。</p> <p>〔派遣数 168ヶ所〕 〔参加者 4,932人〕</p>				

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
2 地域活動の担い手の育成と人材育成への支援	<p>○市民公益活動に係る情報の発信及びNPO法人等への活動の支援を行います。</p> <p>○地域活動を行う団体や社協との協力のもと、地域活動の担い手やリーダーとなりうる人材の育成に努めていきます。</p>	<p>○地域課題の解決や市民サービスの向上等に関する活動や起業を検討しているや行っている団体等を支援するため、専門的知識を有するNPO法人がアドバイスを行う『市民活動・ソーシャルベンチャー相談窓口』を設置しました。</p> <p>○NPO相互のネットワークづくりとNPOの活動を支援する中間支援機能の構築を目的とする『NPO Links あいづ』の活動を支援しました。</p> <p>○学校ボランティアを対象に『学校図書館ボランティア養成講座』を開催し、学校図書館で活動できるボランティアを養成しました。 〔延べ70名参加〕</p>	<p>○地域活動のリーダーの育成や、地域活動の担い手育成につながるような取組を推進します。</p>	<p>○会津若松市ボランティア学園（以下「ボランティア学園」という。）を開催し、ボランティアの育成のほか、『ボランティア学園』を通じた情報発信や相談窓口の充実を行いました。</p> <p>〔受講者 93名〕 〔受講講座 7講座〕</p>	<p>○町内会等の活動について関心を高めます。（市民）</p> <p>○市民公益活動団体やその活動等についての関心を高めます。（市民）</p> <p>○地域の行事や催事等に可能な範囲で参加する努力をします。（市民）</p> <p>○多くの住民の関心を高め、参加できるような運営に日頃から努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○幅広い世代の交流促進につながるような機会の創出に努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○町内会等の行事や運営への協力を通じて、従業員の地域活動への参加意識を高めるように努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者等）</p>	<p>○町内会運営を区長一人に任せていたら、区長が辞めたあとに運営に詳しい人がいないため苦労した。多くの住民が運営に参加する仕組みをつくる必要がある。</p> <p>○気力や体力の増進のために行く『ふれあい・いきいきサロン』に加齢による体力低下で行けなくなっている人が多い。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○サロン活動等の地域福祉の基盤となる活動についてのさらなる周知・広報を行うとともに、必要な支援を行っていきます。</p>	<p>○『生涯学習支援者講座』、『地域で育むボランティア養成講座』を開催し、地域活動等に主体的に取り組む人材の育成を図りました。</p> <p>〔生涯学習支援者講座 25名参加 ボランティア養成講座 16名参加〕</p> <p>○地域ケア会議等において、地域の中で活動する『ふれあい・いきいきサロン』を紹介しました。</p> <p>○社協や地域包括支援センターとの連携を図り、『ふれあい・いきいきサロン』の設立や活動の支援、参加に向けたPRに取り組みました。</p>		<p>○高齢者やボランティアが身近な地域で仲間づくり、生きがいづくりを行う『ふれあい・いきいきサロン』の活動に助成金の交付と職員の派遣を行い、活動の支援に取り組みました。</p> <p>また、活動団体の『ふれあい・いきいきサロン交流会』開催し、活動の推進に取り組みました。</p> <p>〔開催箇所 119箇所 支援回数 82回〕</p> <p>〔交流会 令和元年12月5日 47名参加〕</p>	<p>○従業員が地域活動やボランティア活動等に参加しやすくなるような職場環境づくりや、積極的な参加を促すような働きかけなど、地域貢献につながる取組に努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
3 若者が参加しやすい環境づくり	<p>○若者のおかれている生活状況やニーズ等の把握を行うためのアンケート調査や懇談等を実施します。</p> <p>○大学、企業・事業所、社会福祉関係団体等との協力のもと、若者が地域の中で自然環境や伝統文化にふれる活動、ボランティア活動に参加しやすい環境づくりを進めます。</p>	<p>○若者が主体的な人生を実現させることができるよう支援するため、大学生等を対象に、仕事・結婚・出産・子育てなどについて考える『ライフデザインセミナー』を、会津大学短期大学部の協力を得て開催しました。 〔26名参加〕</p> <p>○会津大学や会津高校等と連携し、図書館等を活用した探究学習講座『あいづまちなかキャンパス』を実施しました。〔延べ58名参加〕</p>	<p>○若い世代のボランティア活動に対する理解を深め、参加につながるような取組を積極的に推進します。</p>	<p>○小・中学生が障がい者の疑似体験等から福祉について考える『出前福祉体験教室』をボランティア団体等と連携により実施し、福祉教育の推進に取り組みました。 〔実施25回〕</p> <p>○高校生・専門学校生・大学生を対象に、『自分発見ボランティア事業』を実施。福祉施設との連携を図り、ボランティア活動を通して、福祉意識の醸成に取り組みました。 〔協力施設 30施設〕 〔参加者数 70名〕</p>	<p>○地域の催事や行事に子どもや家族を誘って一緒に参加するよう努めます。(市民)</p> <p>○地域活動に取り組む市民は、子どもたちを誘い、活動を知ってもらう機会をつくることに努めます。(市民)</p> <p>○学校等が取り組む地域との交流活動等に協力します。(市民)</p> <p>○子どもから高齢者までの多様な世代が参加し、交流できる催事や行事の企画運営に努めます。</p> <p>○活動に参加する機会が限られている学生や勤労者に対し、回覧板等を活用し、地域の運営や活動に関する情報を継続的に発信するなど、地域の情報から隔離しないように努めます。(地域の各種団体)</p>	<p>○少子化により昔と比較し若者の人数が減っている。若者だけに任せるのは難しいと思う。</p> <p>○災害ボランティアには多くの若者が参加している。ボランティアに興味を持つ若者は多いので、アプローチ次第ではないか。</p> <p>○町内会活動に若者が参加しやすくなるよう子どもが参加できる行事を増やした。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	○若者が地域活動に参加しやすくなるような職場環境づくりに向けて、企業や事業所等に働きかけを行います。	○区長会と連携し、若者の町内会活動への参加に向けて、町内会への加入促進に向けて取り組みました。 ○会津若松商工会議所などの経済団体を通じ、地域福祉活動への企業の参加や、従業員が参加しやすい職場環境づくりを要請しました。			○町内会等の行事や運営に対する協力を通じて、従業員の地域活動への参加意識を高めるように努めます。(民間・福祉サービス事業者等) ○従業員が地域活動やボランティア活動等に参加しやすくなるような職場環境づくりや、積極的な参加を促すように働きかけるなど、地域貢献に繋がる取組に努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)	
基本目標 1に係る評価 (令和元年度)	<p>地域福祉活動は、地域住民や各種団体、福祉サービス事業者など多様な主体による活動となることから『あいづわかまつ地域福祉を考えるフォーラム』など地域福祉の理解を広げるための啓発活動、『ボランティア学園』や『生涯学習支援者講座』をはじめとした人材育成に引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>人材育成にあたっては、担い手など育成にとどまらず、講座の修了者と支援を必要としている人がつながる仕組みづくりも重要と考える。講座の修了者等が活動につながる取組が必要と考える。</p> <p>幼少期からの福祉教育は、現在社協により『出前福祉体験教室』が行われているが、地域福祉を考えるアンケート結果からも期待が高いことから、今後の取組の強化を期待する。</p> <p>『地区社協』が昨年引き続き組織化に至ったことは評価できる。『地区社協』は、地域福祉活動の拠点となる重要な組織であることから、『地区社協』の組織化に向けた地域福祉への理解促進に引き続き努められたい。</p>					

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本目標 2 地域の中での支え合い、助け合いがある地域づくり						
基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
1 地域福祉活動への参加の促進	<p>○地域福祉活動に取り組む体制が十分でない地域への支援を行います。</p> <p>○既に実践されている地域活動の事例等を市民に紹介していきます。</p>	<p>○公園や緑地などの美化緑化活動を行う『公園等緑化愛護会』の活動支援と未結成地区への働きかけを行いました。</p> <p>○支え合いに向けた多世代の集まれる身近な居場所づくりとして『今和泉たまご事業』を町内会と協働で取り組みました。〔新規〕</p> <p>○より多くの住民が町内会に加入することで地域福祉活動につながるよう、町内会に加入しやすい環境づくりの取組を紹介しました。</p> <p>○『介護予防講演会』を開催し、他の地域における『ふれあい・いきいきサロン』の取組を紹介しました。〔再掲〕</p>	<p>○地域福祉活動の推進につながるよう、取組を進めます。</p>	<p>○認知症カフェ『俺ん家カフェ』を開き、認知症患者とその家族の居場所づくりを支援しました。</p> <p>○『ボランティア学園』や『出前福祉体験教室』等を開催し、地域福祉活動の推進につながる人材の育成に取り組みました。〔再掲〕</p> <p>○高齢者やボランティアが身近な地域で仲間づくり、生きがいを創出する『ふれあいいきいきサロン』の活動の推進に取り組みました。〔再掲〕</p>	<p>○町内会等の地域活動団体に加入します。(市民)</p> <p>○自らが生活する地域の生活課題等について日頃から意識します。(市民)</p> <p>○地域の催事や行事等に可能な範囲で参加することに努めます。(市民)</p> <p>○地域の課題を解決するために、地域で行えることを皆で考えます。(地域の各種団体)</p> <p>○地域の力で取り組めることから行動に移す努力をします。(地域の各種団体)</p> <p>○他地域の取組への関心を高め、情報収集に努めます。(地域の各種団体)</p>	<p>○町内会の活動を知ってもらおうよう、町内会の広報紙を毎月配付している。</p> <p>○個人情報保護の意識の高まりにより、町内会にどのような人が住んでいるか把握が難しい状況になり、地域福祉活動に支障になることがある。</p> <p>○地域の活動に向けて住民の機運を高めるために、地区ごとに講演会を行ってほしい。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○地域との懇談会、講演会や勉強会等の開催等、地域福祉活動への参加意識を高めるための取組を実施します。</p>	<p>○地域ケア会議等に参加し、地域の多様な担い手との、地域生活課題の把握や地域福祉への理解促進、課題解決に向けた仕組みづくりの推進に努めました。</p> <p>○地域福祉活動への参加意識の向上を目指し、一箕地区の地域共生社会の実現に取り組む勉強会『おらがのまちづくり』を共同で開催しました。</p> <p>〔講師 認知症介護研究・研修東京センター 佐藤信人氏 参加者 90名〕</p> <p>○『地域づくり教室』を開催し、地域生活課題の共有や地域住民と公民館が協働して取り組む課題解決に向けた仕組みづくりについて話し合いを行いました。</p>			<p>○町内会等の行事や運営に対する協力を通じて、従業員の地域活動への参加意識を高めるように努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)</p> <p>○従業員が地域活動やボランティア活動等に参加しやすくなるような職場環境づくりや、積極的な参加を促すように働きかけるなど、地域貢献につながる取組に努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	○勤労者が地域活動に参加しやすくなるよ うな職場環境づくり に向けて、企業や事 業所等に働きかけを 行います。	○経済団体を通じ、地域 福祉活動への企業の参 加や、従業員が参加し やすい職場環境づくり を要請しました。〔再 掲〕				

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
2 市民協働による取組の推進	<p>○市民協働による取組が広がるよう、市民への理解促進や情報提供を図っていきます。</p> <p>○市民協働による取組が推進されるよう地域の多様な担い手と市のネットワーク構築に努めます。</p>	<p>○地域ケア会議等に参加し、地域福祉の理解促進に努めました。〔再掲〕</p> <p>○市民公益活動団体との協働により地域課題の解決などに取り組む『行政提案型協働モデル事業』を実施しました。</p> <p>・地域共生による、より身近な居場所づくり ・公園の新たな魅力づくりと管理運営方策 ・認知症サポーターの活用に向けた方策検討</p> <p>○社協と連携し、地域福祉の理解促進に努め地区社協の組織化を図るとともに、地区社協の活動の支援に取り組みました。</p>	<p>○地域住民同士が協力して行う活動の継続や、充実・強化が図られるような支援の取組を推進します。</p>	<p>○要援護世帯に対する除雪ボランティア活動を支援するため、町内会単位の『地域ぐるみ除雪ボランティア』、企業等の『スノーバスターズ』の組織化を推進しました。</p> <p>地域ぐるみ 除雪ボランティア 組織数 85 地区 登録者数 747 名 除雪回数 338 回 間口回数 291 回 スノーバスターズ 登録者数 219 人</p>	<p>○自分が住む地域のNP ○法人等の活動などへの理解に努めます。(市民)</p> <p>○知識や能力を地域のために活かせる機会がないかを意識します。(市民)</p> <p>○困ったことを解決するために、自らができる範囲から取り組むことに努めます。(市民)</p> <p>○困ったことについて、問題意識を共有できる人が近くにいないか探してみます。(市民)</p> <p>○課題の解決に向け、他地域の取組等の情報に関心を高めます。(地域の各種団体)</p> <p>○課題の解決に向け、地域として何ができるかを住民同士で一緒に考えてみます。(地域の各種団体)</p>	<p>○地域ケア会議等は、事業者が地域住民や各種団体と話し合える場なので、出席することができよかった。</p> <p>○地域の企業が、清掃活動のボランティアや企業の敷地内にベンチを設置し開放するなど地域福祉活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>○ボランティア学園の卒業者が地域での活動につながるような仕組みづくりを進めてほしい。</p> <p>○事業者として社会貢献活動をしたいが地域との接点がない。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
		<p>○北会津地区、河東地区の「地域づくり委員会」の活動を支援し、事業の実施や地域内交通の運行に向けた各種検討等、連携・協働による地域づくり活動に取り組みました。</p> <p>○若松第三地域包括支援センターを支援し、地域の事業者の連携による高齢者の見守り活動を行う門田・大戸地区見守り協議会『Sun3 ネット』の設立につなげました。</p> <p>○専門職ケア会議において、社会福祉法人の「地域における公益的な取組」の啓発を行いました。</p>		<p>○地区社協『東山・人と地域をつなぐ会』において、東山小の伝統行事体験授業の支援を行いました。〔新規〕</p> <p>○地区社協『みんなと湊まちづくりネットワーク』においては、湊小が行う猪苗代湖の水を守る活動等の支援を行いました。</p> <p>○地区社協『北会津ふれあいネットワーク』において、会津美里町包括支援センターと共同で行った『SOS認知症模擬訓練』を支援しました。また、地区社協『河東ふれあいネットワーク』において、『SOS認知症模擬訓練講習会』を開催しました。〔新規〕</p>	<p>○課題の解決に向け、可能な範囲から取り組むよう努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○町内会等の行事や運営に対する協力を通じて、従業員の地域活動への参加意識を高めるように努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者等）</p> <p>○従業員が地域活動やボランティア活動等に参加しやすくなるような職場環境づくりや、積極的な参加を促すように働きかけるなど、地域貢献につながる取組に努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者等）</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

<p>基本目標2に係る評価 (令和元年度)</p>	<p>『公園等緑化愛護会』や『地域ぐるみ除雪ボランティア』は、支え合い活動に積極的に取り組む地域において中心的な活動になっていることが多い。市や社協は、この取組が広がるよう引き続き働きかけに努めるとともに、次の支え合い活動につなげられたい。</p> <p>地域福祉活動へより多くの人の参加につなげるには、『ボランティア学園』の卒業生をはじめとする様々講座の修了者と支援を必要としている人がつながれる仕組みづくりが重要と考える。市民からは『ボランティア学園』の卒業者が地域福祉活動につなげる仕組みづくりの構築を求める意見もある。社協は、ボランティアセンターのマッチング機能の強化と活動の広報活動に取り組まれたい。</p> <p>市民の地域生活課題解決への意識が高まりつつあることから、取組事例の紹介や体制づくりに向けて情報提供の充実を図り、地域住民による課題解決の取組を推進されたい。</p> <p>『地区社協』が学校と連携した活動に取り組んだことは評価できる。社協は、引き続き『地区社協』が地域の幅広い人を対象とした活動に取り組めるよう支援に努められたい。</p> <p>社会福祉法人の行う「地域における公益的な取組」が地域のニーズを捉えた取組がなされるよう支援に努められたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に伴い「新しい生活様式」が国から示されたことから、それを踏まえた見守り体制の構築に努めていただきたい。</p>
-------------------------------	--

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本目標3 いつまでも安心、安全に暮らせる地域づくり						
基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
1 地域の活動拠点づくり	<p>○地域の活動拠点となっている公民館やコミュニティセンター（以下「コミセン」という。）等の公共施設の利用促進を図るとともに、地域の自治会館や集会所等の地域の活動拠点の整備に係る助成事業等の情報提供を行います。</p> <p>○地域の活動拠点で行われる老人クラブやサロン活動等への参加促進につながる情報提供を行っていきます。</p>	<p>○町内会の集会場に対する固定資産税を減免するほか、社協による『空き家等を活用した支え合い拠点認定制度』の支援を行いました。</p> <p>○公民館を拠点とし、憩いの場として気軽に集える仕組みづくりと地域コミュニティの活性化を目的に『地域交流館～ひがしカフェ～』、『大戸お元気倶楽部』を開催しました。</p> <p>○『介護予防講演会』や地域ケア会議等において地域における『ふれあい・いきいきサロン』地域サロンの活動を紹介しました。〔再掲〕</p>	<p>○地域の活動拠点の積極的な利活用が図られるよう、集いの場の充実支援及び、サロン活動等の新設に向けた支援を推進します。</p>	<p>○『ふれあい・いきいきサロン』の活動支援及び新設に向けた案内を行い、地域における活動拠点、交流拠点づくりに取り組みました。〔再掲〕 令和元年度 107件 ↓ 令和2年度 119件</p> <p>○空き家等を活用した支え合い拠点認定制度の実施を行いました。〔継続1件〕</p> <p>○認知症カフェ『俺ん家カフェ』を開催しました。〔再掲〕</p>	<p>○地域の活動拠点となる施設について把握するとともに、利活用に努めます。（市民）</p> <p>○地域の活動拠点で行う交流促進のためのサロン活動や催事等に積極的に参加するよう努めます。（市民）</p> <p>○市域の公民館、コミセン、自治会館、集会所等の地域の活動拠点となる施設を活用し、住民同士の交流促進のための拠点づくりに努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○地域の活動拠点で行われている催事等への協力を行うなど、地域貢献活動の取組に努めています。（民間事業者、福祉サービス事業者等）</p>	<p>○近所の各世代の人がベンチに集まり話している。『ふれあい・いきいきサロン』を始めるのが難しいところは、ベンチを置くことから始めてみてはいいのではないか。</p> <p>○催事等の開催に当たり担い手が不足するのならば、近隣の町内会が協力し協働で行うようにすればよいのではないか。</p> <p>○地域の企業として、『ふれあい・いきいきサロン』のための施設貸出、講師の派遣などを行っている。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
2 災害時避難行動要支援者への見守り等の日常的な支援	○地域や関係機関との連携を図り、災害時避難行動要支援者の的確な状況把握に努めるとともに、支援のあり方や地域における支え合いの仕組みづくりを進めています。	○災害時避難行動要支援者の近隣支援者や緊急時連絡先などの情報を収集し、名簿を作成するとともに、避難支援等関係者（警察署、消防署、町内会、民生委員等）へ名簿の提供を行いました。 ○地域ケア会議において、地域防災の研修や災害に備えた日々の取組、活動に向けての課題等について話し合いを行いました。	○地域住民が行う災害時避難行動要支援者への日頃からの見守り活動等の取組への支援を行います。	○地区民生児童委員協議会が行う『一人暮らし高齢者会食会事業』に対する助成金の交付や、高齢者の交流の場である『ふれあいひろば』事業の実施、『すみれ会』への活動支援など、相互交流を推進することで日常的な見守り体制の強化を図りました。 高齡者会食会 開催：7地区 ふれあいひろば 開催：11回 参加：120名 すみれ会 開催：5日 参加：93名	○近所の災害時避難行動要支援者世帯の有無を意識します。（市民） ○地域の民生委員や高齢者福祉相談員等の把握に日頃から努めます。（市民） ○日頃からの見守り活動を通して、住民同士の交流を深め、災害時に要支援者への必要な支援が行えるような関係づくりに努めます。（地域の各種団体） ○町内会、民生委員、高齢者福祉相談員、その他の地域活動団体間の協力体制づくりに日頃から努めます。（地域の各種団体） ○町内会等の行事や運営に対する協力を通じて、従業員の地域活動への参加意識を高めるように努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者）	○災害時避難行動要支援者に対する支援体制を構築する必要性を感じているが、地域のみでの構築は難しいことから、市の支援をお願いしたい。 ○「令和元年東日本台風」では、避難勧告が発令されたので、避難行動要支援者を避難所へ送った。

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
			<p>○地域住民によるボランティア活動への理解促進や参加促進につながるような取組を推進します。</p>	<p>○『ふれあい・いきいきサロン』活動や『地域ぐるみ除雪ボランティア』活動を通し、地域の見守り・支え合い活動の取組を支援しました。〔再掲〕</p> <p>○『ボランティア学園』等を開催し、ボランティアへの理解促進と人材の育成に取り組みました。〔再掲〕</p>	<p>○従業員が地域活動やボランティア活動等に参加しやすくなるような職場環境づくりや、積極的な参加を促すような働きかけなど、地域貢献につながる取組に努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者)</p> <p>○日常の業務に合わせた見守り活動等への協力に努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
3 生活支援に係る情報提供体制の充実	<p>○生活支援に係る情報について、市民が理解しやすい情報提供に取り組みます。</p> <p>○生活で困ったときの相談窓口（地域包括支援センターや民生委員等）について、効果的な広報による地域住民の理解促進に努めます。</p>	<p>○「市政だより」やホームページ、『生活サポート相談窓口』のパンフレット、冊子などのほか、民生委員等を通して、生活支援情報の提供を図りました。</p> <p>○孤立死防止等リーフレット『地域の見守りが孤立死を防ぎます』を連携事業所や民生委員を通じて配布し、様々な相談支援窓口について広報しました。</p> <p>○『1日民生委員』や街頭キャンペーンを行い、民生委員・児童委員の活動への理解促進を図りました。</p>	<p>○ホームページの充実や社協だよりの活用等により、生活支援に係る相談先や支援制度等についての情報提供を進めていきます。</p> <p>○社協の組織、役割、取組についての情報発信に努め、市民の理解促進を図っていきます。</p>	<p>○「社協だより」やホームページに生活支援に係る情報特集ページを掲載し、分かりやすい広報に努めました。</p> <p>○「社協だより」の発行、ホームページの随時更新、フェイスブックの開設など、情報発信力の強化を図り、事業内容の理解促進に取り組みました。</p>	<p>○市政だよりや市のホームページ、町内会からの回覧板等に日頃から目を通すなど、自分や周りの人に必要となる情報の取得に努めます。（市民）</p> <p>○回覧板による周知や、地域の活動拠点への掲示等により、住民に必要な情報をわかりやすい形で伝えることに努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○利用可能な福祉サービスについて、利用者への周知に努めます。（福祉サービス事業者）</p>	<p>○パンフレットは、説明しながら渡しやすいので情報の伝達には助かる。</p> <p>○パンフレットは受け取る機会が少ないので、市は、インターネットを活用した情報発信を強化してもらいたい。</p> <p>○市は、インターネットを利用できない人に配慮した情報発信を行ってほしい。</p> <p>○町内会の活動を知ってもらえるよう、町内会の広報紙を毎月配付している。〔再掲〕</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
4 子育てにやさしい環境づくり	<p>○子どもを安心して産み育てられる環境づくりを行います。</p> <p>○子育てに携わる人材を育成します。</p>	<p>○「青少年育成市民会議」や「子ども会育成会」等と協働して、家庭・学校・地域が連携して子ども達の健全育成に取り組みました。</p> <p>○地域社会の中で放課後の児童の居場所づくりとして『放課後子ども教室』を実施しました。</p> <p>○子育て支援のため親子のふれあい活動として『ぴかりん子育てクラブ』を実施しました。</p> <p>○『読み聞かせ講座』の受講者に『子ども読書活動支援ボランティア』への登録を促すことで、ボランティアの育成と活動の場を提供しました。</p> <p>参加者 16名 新規登録者 3名</p>	<p>○子育てに携わる団体への支援や、サービス提供体制が十分でない地域に対する子育て支援に積極的に取り組んでいきます。</p>	<p>○地区社協の『東山・人と地域をつなぐ会』や『みんなと湊まちづくりネットワーク』においては、小学校の活動支援に取り組みました。〔一部新規・再掲〕</p> <p>○「湊こどもクラブ」の運営を受託し、湊小学校との連携をはじめ、地域の高齢者との交流、湊公民館行事への参加など地域に密着した子育て支援活動を行いました。</p> <p>○NPO 法人寺子屋方丈舎が主催するこども食堂運営会議に出席するなど、子どもの居場所づくり活動を支援しました。</p>	<p>○子どもや子育て世代についての理解に努め、隣近所で子育てを行いやすい環境づくりに配慮します。(市民)</p> <p>○日頃から地域における民生委員・主任児童委員を把握します。(市民)</p> <p>○子どもや子育て世代との交流の場をつくり、子育ての孤立化を防ぐことに努めます。(地域の各種団体)</p> <p>○子育てに不安を抱える家庭について、市や民生委員・主任児童委員に相談又は情報提供を行います。(地域の各種団体)</p>	<p>○子育ての支援をしたいと考えているが、子育て世代と接点がなく始めることが難しい。</p> <p>○子どもが少なく、高齢者は多くいるので、高齢者が子育てを手伝いたい。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○子育てに関する支援、相談体制のさらなる充実を図ります。</p> <p>○共働き、ひとり親家庭等が自立して生活できるように必要な支援を行います。</p>	<p>○こどもクラブの支援員を対象に研修会を行い、保育 養育支援の質の向上に努めました。</p> <p>○安心して子どもを産み・育てられるよう、『子育て世代包括支援センター』において、妊娠初期から子育て時期を通じた相談や支援を行いました。</p> <p>○保育所、認定こども園等で子育てに関する相談や子育て家庭等の交流の場を提供する『地域子育て支援事業』を実施しました。</p> <p>○保護者が就労等により放課後家庭にいない児童小学生を対象とした『放課後児童クラブ』（こどもクラブ）を設置し、児童の健全な育成に努めました。</p> <p>[23箇所 50クラス]</p>				

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
5 高齢者が安心して生活できる地域づくり	○高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその人らしい生活が続けられるよう、「地域包括ケアシステム」の構築を目指します。	○全市及び各地域に『協議体』の設置と『生活支援コーディネーター』の配置を行い、生活支援体制の整備を推進しました。〔拡充〕 ○地域住民主体による地区敬老会を開催し、地域住民の高齢者福祉への関心と理解を深めるとともに、高齢者自らが生活の向上意欲を高める機会となりました。 ○地域の医療・福祉の専門職による『ふれあい・いきいきサロン』である『えるだあカフェ』の設立を支援しました。〔新規〕 ○健康維持と生きがいを目的に『いきいき健康教室』、『いきいき趣味教室』を開催しました。 健康教室参加 51名 趣味教室参加 85名	○地域住民が取り組む見守り活動の支援や、高齢者の生きがいをづくりの活動等への支援を図っていきます。 ○地域活動のリーダー養成の取組を推進します。	○「老人福祉センター希らら」において、多様な講座の開催やクラブ活動、カラオケ発表会等のイベント開催し、高齢者の交流と健康・教養の増進を図りました。 ○『ボランティア学園』地域ボランティア養成学科を設け、地域リーダーとして活動のすそ野を広げる取り組みを行いました。	○生きがいをづくりや社会参加の促進について関心を高め、元気で生きがいを持って生活することを目指します。(市民) ○孤立死等の防止のため、高齢者同士の交流や支え合いの必要性を意識します。(市民) ○地域の活動拠点で行われる集いの場等に積極的に参加します。(市民) ○介護予防についての理解を深め、積極的な取組に努めます。(市民) ○地域内で健康教室等を開催し、健康づくりに努めます。(地域の各種団体) ○在宅の高齢者世帯に対する関心を持ち、見守りや支援を行います。(地域の各種団体)	○何度注意をしても正しくごみを捨てられない認知症の高齢者を、地域の課題と考え市と地域包括支援センターと相談した。結果、地域の人がもう少しだけ見守り・支援を行えば解決することに気が付いた。 ○『ふれあい・いきいきサロン』や買物などで送迎のボランティアの希望は多いが、事故が起きたことを考えると難しい。

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○民生委員との連携や孤立死防止等ネットワークの充実・強化により、地域に根差した高齢者の見守り体制を図っていきます。</p>	<p>○高齢者の見守り活動を行う門田・大戸地区見守り協議会『Sun3 ネット』の設立を支援しました。〔再掲〕</p> <p>○民生委員や高齢者福祉相談員との連携、『孤立死防止等ネットワーク』の充実・強化により、地域に根差した高齢者の見守りを行いました。</p>	<p>○高齢者の地域生活を支援していきます。</p>	<p>○高齢者が地域で継続して生活ができるよう、『認知症サポーター養成講座』の開催、地域包括支援センターと連携し、介護予防に関する運動や知識の普及・啓発を行いました。</p> <p>○『北会津ふれあいネットワーク』、『河東ふれあいネットワーク』において、『SOS 認知症模擬訓練』等を行いました。〔新規・再掲〕</p> <p>○『ふれあい・いきいきサロン活動』や『地域ぐるみ除雪ボランティア』の推進、地区社協の組織化など、地域での支え合い活動の強化に取り組みました。〔再掲〕</p>	<p>○高齢者の行事（敬老会・老人会・サロン活動等）のために、地域の自治会館や集会場等の活動拠点を開放します。（地域の各種団体）</p> <p>○従業員が退職後に地域づくりやボランティア活動等に参加し、地域貢献に従事していただけるような意識啓発に努めます。（民間事業者）</p> <p>○高齢者が利用しやすいよう福祉サービスの情報発信に努めます。（福祉サービス事業者）</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○地域との連携を深め、ボランティアなどを含む多様な主体による支援の拡大など、生活支援の充実を図ります。</p>	<p>○地域住民の支え合いにより安心して暮らせるまちづくりを目指し、社協と連携し『地域支援ネットワークボランティア事業』を展開しました。</p> <p>○社協による『ボランティア学園』の運営の支援を行いました。</p>		<p>○『ヤクルト愛の訪問活動』や『電気点検・清掃ボランティア』といった企業の社会貢献活動を民生委員の協力のもと、連絡調整等の支援を行いました。</p> <p>〔愛の訪問活動 699名利用 電気点検・清掃 9世帯〕</p> <p>○北会津地区において、高齢者等が急病時に救急隊員に急病人の病状等が伝わることで早急な措置につながるよう、『あんしんバトン』配布事業に取り組みました。</p> <p>〔新規9件〕</p>		

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
6 障がい者（児）への理解促進と共生の地域づくり	<p>○障がいについての正しい理解が図られるよう、周知に取り組みます。</p> <p>○障がい者に配慮し、障がいの特性に応じた多様な情報提供に努めるとともに、市民や企業・事業所等にも理解促進を図ります。</p>	<p>○河東地区文化産業祭において、障がい者支援施設やグループホームによる物品販売や作品展示を行い、地域住民との交流を通し、障がい理解を図りました。</p> <p>○自立支援協議会だよりにおいてパラスポーツを紹介や、ニュースポーツを出前講座に取り入れ、理解促進と誰もが参加しやすい環境づくりに努めました。</p> <p>○障がい者週間に併せ図書館で障がい福祉関連図書の展示やパンフレットの配布を行い障がい理解に努めました。</p> <p>○『点字版広報議会』を発行しました。また、音訳版の『声の広報議会』をCDなどでの配付のほか、ホームページにて掲載しました。</p>	<p>○障がい者の地域生活への支援に努めます。</p>	<p>○「障がい者支援センターカムカム」におけるボランティア相談及び派遣窓口を担い、障がい者の地域生活を支援しました。</p> <p>○障がいに対する理解とつながりづくりを深めるため、ボランティア学園にて、障がい者との交流会を開催しました。 [3回開催 14名参加]</p> <p>○障がい者の在宅生活を支援するため、居宅介護事業、重度訪問介護事業の実施、更に『ガイドヘルパー派遣事業』を受託し、身体介護や家事援助、移動支援等の支援を行いました。</p>	<p>○合理的配慮（障がいに応じた配慮）にできる限り努めます。（市民）</p> <p>○障がいについての正しい情報の受け入れに努めます。（市民）</p> <p>○障がいの有無に関わらず相互理解・支え合いの意識を持ちます。（市民）</p> <p>○障がい者に対して不当な差別的扱いをしないように努めます。（市民）</p> <p>○障がいの有無に関わらず、誰もが地域活動に参加できるように努めます。（地域の各種団体）</p>	<p>○障がいのあることを地域に知らせてもらえると、地域での支援がしやすくなる。</p> <p>○障がいのある家族を隠さずに地域の活動と一緒に参加してもらいたい。</p> <p>○「ボッチャ」を体験したら楽しかった。障がいのある人も、児童や高齢者も参加できるので地域で行ってみたい。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○市民や事業者からの意見を集めることなどにより、課題を把握するとともに、地域自立支援協議会の場を活用するなど、合理的配慮（障がいに応じた配慮）にもとづき、課題解消の立案・施策展開を行い共生の地域づくりに向けて取り組みます。</p>	<p>○地域自立支援協議会において、障がい者雇用の啓発チラシを作成し、企業に配布・啓発を行いました。</p> <p>○『会津人参栽培研修事業』により、障がい福祉サービス事業所が行う会津人参の栽培を支援し、障がい者が農業に従事する機会を設けました。</p> <p>○地域自立支援協議会において、専門部会を毎月開催し、各部会において課題解決に向けての取組を行いました。</p> <p>〔・障がい者虐待防止・差別解消ワークショップの開催 ・作障がい者による品展示による理解促進〕</p>	<p>○障がいの有無に関わらず、誰でもボランティア活動に参加しやすい環境づくりに取り組みます。</p>	<p>○「たんぽぽ園」の放課後等デイサービスの利用対象を高校生までに引き上げ、サービスの充実を図りました。〔拡充〕</p> <p>○「たんぽぽ園」において、障がい児等の一時預かりを行う『タイムケア』事業を開始し、保護者の早朝や夕方の一時的預かりニーズに対応しました。〔新規〕</p> <p>○ボランティア活動への市民や企業の意識啓発と、活動のすそ野を広げるとともに、障がい者の社会参加を促進するため、『カムカムボランティアポイント事業』を実施しました。</p> <p>〔参加者 142名 （うち障がい者 34名）〕</p>	<p>○各種団体活動に障がい者が積極的に参加できるように努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○障がい者の雇用、就業を促進します。（民間事業者、福祉サービス事業者）</p> <p>○合理的配慮（障がいに応じた配慮）にできる限り努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者）</p> <p>○地域との交流機会を創出し、障がい・障がい者理解の推進に努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者）</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
7 生活困窮者の自立に向けた支援	<p>○総合的な相談窓口である生活サポート相談窓口において適切な支援を行います。</p> <p>○関係機関との連携により、早期の情報把握及び支援に取り組みます。</p>	<p>○『生活サポート相談窓口』において、生活困窮に関する様々な相談を受け付け、必要に応じて関係機関と連携しながら、自立に向けて包括的、継続的な支援に努めました。</p> <p>○『就労支援』や『住確保給付金制度』、『就学支援制度』、『学習支援』等の支援に努めました。</p> <p>○民生委員やハローワークなどの関係機関と連携を図り、情報共有や支援にかかる協議を行うなど、生活が苦しい方の早期発見、早期支援につながるよう取り組みました。</p>	<p>○貸付事業や法外援護事業等の実施、行政・関係機関・地域との協働により、生活困窮者の支援を行います。</p>	<p>○『ふれあい福祉センター総合生活相談所』を設置し、日常的な心配ごとから、各種専門的な相談（一般相談、法律相談、障がい児・者相談、傾聴相談、権利擁護・成年後見相談、子育て相談）までを行い、行政機関や関係機関と連携し、自立できるよう支援に努めました。</p> <p>○福島県社会福祉協議会より生活福祉資金貸付事業を受託し、世帯の自立更生を支援するため、資金の貸付を行いました。</p>	<p>○生活困窮者に関する総合的な相談窓口である生活サポート相談窓口について把握します。（市民）</p> <p>○地域の中での生活困窮者に対して、早期の生活サポート相談窓口での相談をすすめることに努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○生活困窮者に対する地域でのインフォーマルな支援（見守りや声かけなど）を行います。（地域の各種団体）</p> <p>○生活困窮者に対して、総合的な相談窓口である生活サポート相談窓口の情報を提供します。（民間事業者、福祉サービス事業者）</p>	<p>○生活保護にならないよう自立に向けて支援をしてほしい。</p> <p>○地域で生活が苦しい人の支援は難しい。積極的に『生活サポート相談窓口』につなごう。</p> <p>○地域にひきこもりがっている。農作業は近所の助け合いが必要になることが多いので将来が心配。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○住宅確保要支援者に対しては、公営住宅や民間住宅を含めた総合的な住まいの供給や情報提供の体制を構築し、支援を行います。</p>	<p>○弁護士、司法書士、ファイナンシャルプランナーを配置し、生活困窮や多重債務等の改善に向け『納税等相談会』を実施しました。</p> <p>○住宅確保要支援者に対する情報提供、状況に応じて『住居確保給付金』制度の利用を勧めるなど、家賃補助と就労支援の両面からの支援を行いました。</p>	<p>○生活困窮者についての情報を、市と共有し、支援の強化に努めます。</p>	<p>○行政機関や関係機関と連携し、生活が苦しい世帯に対する『フードバンク事業』（緊急食料の提供）、こども食堂への支援、『年末特別相談会』を実施しました。</p> <p>〔フードバンク事業〕 受入 34件 提供 102件 出前・年末特別相談会 開催 5日 相談数 9件</p>	<p>○行政・関係機関・地域と連携しながら生活困窮者への支援を行います。 (民間事業者、福祉サービス事業者)</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
8 安心安全なまちづくり	○災害時避難行動要支援者の居場所を確認し、その情報を把握するとともに、地域における日常的な見守り活動や災害時における支援などを図るための体制づくりを進めます。	○「自主防災組織」設立に向けて補助制度の創設と、出前講座による地域防災の啓発を図りました。〔補助3地区〕 ○『地域自立支援協議会』において総合防災訓練や福祉避難所等を検証し、災害時避難行動要支援者の支援にかかる提言を行いました。	○ボランティアセンター事業の充実・強化を図ります。	○ボランティアの情報を把握し、ボランティアの助けを必要としている人に紹介する「マッチング」に取り組みました。 相談件数 4,145 件 マッチング数 1,790 件 ○市総合防災訓練への参加し、「災害ボランティアセンター設置訓練」や「福祉避難所開設訓練」を行いました。 ○令和元年東日本台風被災地でのボランティアに参加できるよう、ボランティアの情報提供や相談、被災地までのバスの運行を行いました。	○自らの命は自ら守る（自助）という意識を持ちます。（市民） ○自分たちのまちは自分たちで守る（自助・共助・互助）という意識を持ちます。（市民） ○地域において相互に助け合い（互助）、平時から防災体制の構築に努めます。（市民） ○地域での防犯・防火訓練の実施など、日頃より防犯・防災意識の啓発に努めます。（地域の各種団体） ○住民同士や関係団体との協力により、防犯・防災のための見回り等を実施します。（地域の各種団体） ○施設の安全確保を図るとともに、防災意識の普及・啓発に努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者）	○町内会で発災時の一時避難場所を決めていたので、「令和元年東日本台風」のときは、そこへ避難した。 ○高齢者を中心に、児童の通学の見守りや防犯の見守りを行っている。

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○地域における犯罪を抑止し、安心安全に暮らせる地域とするため、地域住民による自主的な防犯活動を推進し、支援します。</p>	<p>○自主防災組織「慶山自主防災会」が実施した避難訓練において、公民館を避難場所として提供するとともに、発災時における連携方法について確認をしました。</p> <p>○地域の防犯のため、町内会に防犯灯の設置費用や電気代を補助しました。</p>			<p>○施設の確保や備蓄品の保管等、従業員や顧客等が滞在可能な環境整備に努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者)</p> <p>○日常的に要支援者に対する声かけや見守りを通して、防犯・防災意識の向上に努めます。(福祉サービス事業者)</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

<p>基本目標3に係る評価 (令和元年度)</p>	<p>地域の活動拠点づくりに当たっては、集会所建設に対する『集会場整備事業補助金』、空き家を利用する市の『空き家等改修支援事業』や社協の『空き家等を活用した支え合い拠点認定制度』の利用に併せ、企業の会議室や店舗のフリースペースの借用、公園のベンチなど屋外の施設の利用についても促す必要があると考える。</p> <p>災害時避難行動要支援者の支援の在り方については、住民同士による日常的な支援や近所づきあいから生まれる意識が、災害時の支援につながっていくことから、地域における日々の見守り活動につなげる取組に引き続き努められたい。</p> <p>『地区社協』の取組として、学校の授業の支援を行ったことは評価する。他の『地区社協』でも高齢者に対する活動が中心となっていることから、今後このような幅広い世代に対する取組が増えることを期待する。</p> <p>高齢者等の見守りについては、門田・大戸地区見守り協議会『Sun3 ネット』や『えるだぁカフェ』のような民間事業者の連携による組織が設立に至ったことは評価する。このような取組が他の地域にも広がるよう期待する。</p> <p>障がい者雇用の啓発や『会津人参栽培研修事業』による農業と福祉の連携について評価する。今後も誰もが活躍できる地域を目指し取り組んでいただきたい。</p> <p>生活が苦しい人が、適切な支援につながるよう、『生活サポート相談窓口』の情報提供に努めるとともに、早期発見・早期支援に向けて関係機関との連携による取組に努めていただきたい。</p>
-------------------------------	---

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本目標 4 健康でずっといきいき暮らせる地域づくり						
基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
1 健康 づくり の推 進	<p>○健康づくりのための普及啓発や取組に対する支援を行います。</p> <p>○健康課題の分析を行うとともに、関係団体と連携しながら課題解決に向けて取り組みます。</p>	<p>○社協や地域包括支援センターと連携し、『げんきに健康教室』を行い健康づくりの推進に努めました。 〔8回開催 99名参加〕</p> <p>○運動不足とストレスを解消し、心身の健康づくりを目指す『健康ヨガ教室』を実施しました。 〔3回開催 55名参加〕</p> <p>○ウォーキング大会や、公民館での高齢者講座や健康講座等において、健康づくりの推進に努めました。</p> <p>○430人の栄養・食生活の指導を基に会津若松市食育ネットワーク、飲食店等と協力しヘルシーメニューの提供や減塩についての啓発を行いました。</p>	<p>○健康づくりにつながるような地域のサロン活動等の充実・強化に向けた支援を図ります。</p>	<p>○「老人福祉センター希らら」や「北会津保健センター」を健康づくり、生きがいくりの拠点とし、高齢者を中心とした健康づくりの推進を図りました。 〔再掲〕</p> <p>○『ふれあい・いきいきサロン』に職員の派遣やレクリエーション器具の貸出をし、介護予防、認知症予防につながる支援に取り組みました。 〔支援回数 82回〕</p>	<p>○健康への関心を高め、積極的な健康づくりに努めます。(市民)</p> <p>○定期的に健診を受けるなど自分の体の状態を知り、生活習慣の見直しや早期の治療に努めます。(市民)</p> <p>○医療に対する理解を深めることに努めます。(市民)</p> <p>○適度な運動の実施や、サロン活動等への参加を通じた地域住民同士の交流等を通じ、心身のリフレッシュに取り組むことに努めます。(市民)</p> <p>○健康づくりの活動を通して住民の健康増進を図ることに努めます。(地域の各種団体)</p> <p>○住民に対して健康受診の呼びかけを行います。(地域の各種団体)</p>	<p>○数人で始めたラジオ体操が、口コミでたくさんの方が参加するようになった。ラジオ一つで健康とつながりができた。</p> <p>○『ふれあい・いきいきサロン』の中で医師や薬剤師など専門職による健康や薬についての講演をするとう健康づくりにつながるのではないかと。</p> <p>○自宅から『ふれあい・いきいきサロン』会場まで歩くことが健康づくりにつながっている。</p> <p>○昔に比べてウォーキングやジョギングを行う人、ジムに通う人が多くなり、健康づくりが活発になっている。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	○国民健康保険の保険者として、被保険者に対する特定健康診査等の受診を積極的に推進します。	○特定健診受診率向上のため、対象者への受診券の送付や受診料自己負担の無料化を実施しました。			○従業員の健康づくりに対する理解の促進に努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者) ○従業員への定期健康診断の実施や、人間ドックの積極的な受診の推進に努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等) ○従業員が医療機関を早期に受診できる職場環境づくりに努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)	○保健委員会は、健康運動教室等を開催し、地域の健康増進に努めている。

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
2 地域医療体制の充実	<p>○市民に適切な医療を提供できるよう、医師会及び歯科医師会や薬剤師会をはじめとする関係医療機関と連携し、時代の要請に応じた医療体制の確保に努め、医療の充実を図ります。</p> <p>○医療機関や保健所等との連携により、難病患者への支援のあり方についても対応を進めていきます。</p>	<p>○地域医療サービスの向上を目指し、ICTを活用したオンライン診療の普及や推進を目指す『会津オンライン診療研究会』を支援しました。</p> <p>○夜間・休日の救急医療体制の確保を図るため、会津若松医師会や二次救急医療病院群、会津保健福祉事務所等を運営委員とした『夜間急病センター運営協議会』、『救急医療病院群輪番制運営協議会』を開催し、救急医療の円滑な運営に努めました。</p> <p>○県や医療機関、福祉事業者などが参加する「難病患者地域支援連絡会議」、「難病患者在宅ケア調整会議」に参加し、支援体制の整備を図りました。</p>			<p>○市ホームページや市政だより等による休日当番医や医療機関に関する情報に日頃から関心を高めることに努めます。(市民)</p> <p>○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持ち、いつでも安心して診療が受けられるように努めます。(市民)</p> <p>○在宅医療についての認識を深めることに努めます。(市民)</p> <p>○出前講座等の利用により、本市の医療体制の現状や在宅医療についての理解を深めることに努めます。(地域の各種団体)</p> <p>○市民が安心して必要な医療が受けられるよう、市内医療機関の医師・看護師等の医療スタッフの確保に努めます。(医療機関等)</p>	<p>○市は、ICT推進しているため、ICTを利用した遠隔診療に力を入れてもらいたい。</p> <p>○高齢者は定期的に病院に行くのでかかりつけ医などを持っている。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	○母子の健康の確保に向けた、かかりつけ医の推奨など地域医療機関との連携を充実します。また、保健・医療・福祉の連携による障がい児への支援や障がい者へのサービス提供体制の充実を図ります。	○安心して子どもを産み・育てられるよう、妊娠初期から子育て時期を通じた相談や支援を行う『子育て世代包括支援センター』を設置しました。〔再掲〕	/	/		
基本目標 4に係る評価 (令和元年度)	<p>健康の維持に向けては、保健委員会を始めとした関係機関と連携しながら各世代を対象に食生活の改善や運動などの健康づくりに取り組んでいる。この取組を参加者の継続的な健康づくりにつなげ、健康寿命の向上に努めていただきたい。</p> <p>『ふれあい・いきいきサロン』は、高齢者が身近な場所で気軽に参加できる健康づくりの場となることから、サロン会の組織化や活動の支援に引き続き取り組まれない。</p> <p>オンライン診療については、近隣に医療機関がなく通院に苦労している地区もあることや、新型コロナウイルス感染症や携帯電話の5G化の報道により興味を持つ人も増えていることもあり、普及に向けて引き続き支援に努められたい。</p>					

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本目標 5 福祉サービスの充実した地域づくり						
基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の展開 ＜社会福祉協議会に求められること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民間事業者、福祉サービス事業者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
1 福祉サービスを利用しやすい環境づくり	<p>○市民に対して福祉サービスについての的確な情報発信を行います。</p> <p>○関係機関との連携により、利用者ニーズに即した福祉サービスの提供につながる環境整備を行います。</p>	<p>○ホームページやパンフレット、『介護保険の手引き』、『障がい者福祉ハンドブック』などの冊子により、福祉サービスの周知を図りました。</p> <p>○地域ケア会議等において、地域の方から広く意見をいただき、関係者間で情報の共有を図りました。</p> <p>○実務経験の浅い介護支援専門員に対し、地域の主任介護支援専門員による実習型研修を行うことを通じ実務能力の向上と指導力向上を図り、利用者本位かつ質の高いケアマネジメントの醸成に努めました。</p>	<p>○ニーズを踏まえ、利用者にとって、さらに利用しやすいような事業の充実を積極的に図ります。</p>	<p>○「ふれあい福祉センター総合生活相談所」において、利用者のニーズに基づく福祉サービスについて、様々な相談に対応し取り組みました。〔再掲〕</p>	<p>○福祉サービスの内容や提供事業者に関する情報の把握及び、自分に合ったサービスの選択・利用に努めます。(市民)</p> <p>○福祉サービスの内容や提供事業者に関する情報などを地域住民間で共有できるような場づくりに努めます。(地域の各種団体)</p> <p>○利用者一人ひとりを尊重したサービスの提供を心がけるとともに、利用者ニーズに即した更なるサービスの向上に努めます。(福祉サービス事業者等)</p> <p>○福祉サービスの向上につながるような人材育成や職場環境の向上に努めていきます。(福祉サービス事業者等)</p>	<p>○住民の中には、福祉施設を利用することに不安な人もいます。施設見学など施設を知ってもらうことで不安を払拭できるのではないかと。</p> <p>○福祉サービス事業者による地域住民へのサービス内容や施設の紹介・開放などの情報公開を期待する。</p> <p>○市は、インターネットを利用できない人に配慮した情報発信を行ってほしい。〔再掲〕</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
2 相談体制の充実・強化	<p>○各種相談窓口や相談員の情報を一覧表で整理し、広報紙やホームページなどに掲載するほか、民生委員や地域包括支援センターなどの相談員を通じ、周知を図ります。</p> <p>○各所属に関する情報を市民に対して適切かつ効果的に広報し、市民が個別のニーズに基づき、円滑に相談・利用できるように努めます。</p> <p>○各種相談窓口間の連携を密にし、市民からの相談に対して一元的な相談体制を構築します。</p>	<p>○生活支援や相談窓口の一覧を掲載した『市民ガイドブック』を作成し、転入者に配付のほかホームページに掲載しました。</p> <p>○孤立死防止リーフレット『地域の見守りが孤立死を防ぎます』を作成し、民生委員や地域包括支援センターなどの地域の相談支援窓口を広報しました。〔再掲〕</p> <p>○『生活困窮者自立支援庁内連携連絡会議』を開催し、庁内の窓口を所管する部局間連携を強化し、相談者に寄り添った支援に努めました。</p>	<p>○総合相談業務の体制強化を図り、必要に応じて市や関係機関との情報共有や連携を行います。</p>	<p>○『ふれあい福祉センター総合生活相談所』を設置し、日常的な心配ごとから、各種専門的な相談までを行い、行政機関や関係機関と連携し、自立できるよう支援に努めました。〔再掲〕</p> <p>○『日常生活自立支援事業（あんしんサポート事業）』を実施し、判断力が低下した認知症高齢者等の権利擁護を目的に、関係機関との連携も図りながら、福祉サービスの利用援助や金銭管理等を行いました。</p> <p style="text-align: center;">〔 契約者数 36名 〕 〔 相談援助件数 4,099件 〕</p>	<p>○各種相談窓口に関する情報について市のホームページや広報誌などに日頃から目を通し把握に努めます。（市民）</p> <p>○地域の中で情報を必要としている人の把握に努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○各種相談窓口についての情報を把握し、情報を必要としている住民に周知します。（地域の各種団体）</p> <p>○日頃より各種相談窓口等の情報把握に努めるとともに、サービス利用者や相談者に対する周知に協力します。（福祉サービス事業者等）</p>	<p>○福祉の窓口が同じフロアにあり便利だが、一つの窓口で様々な相談ができるようになることを期待する。</p> <p>○近くにある地域包括支援センターに高齢者以外の相談もしてしまう。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○専門的な人材の配置や、相談業務に対応する人材に対する研修等を通して、相談体制の強化を図ります。</p>	<p>○弁護士、司法書士等の専門職による各種相談会を実施しました。</p> <p>○『生活サポート相談窓口』に『自立相談支援員』、『自立就労支援員』、『学童生活支援員』、『高校就学支援員』を配置し、相談や支援に努めました。</p> <p>○民生委員や保健委員等を対象に自殺防止に向けた相談対応等の研修会を実施しました。(新規)</p> <p>○消費生活相談員に専門的知識の習得のための研修受講の機会を設け、相談体制の強化を図りました。</p>		<p>○行政機関や関係機関と連携し、生活が苦しい世帯に対する『フードバンク事業』（緊急食料の提供）、『こども食堂事業』、『年末特別相談会』を実施しました。〔再掲〕</p>		

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	令和元年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	令和元年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
3 利用者 主体の 福祉サ ービス の実現	<p>○関係機関との連携により、利用者からの声を吸い上げるような仕組みづくりを行います。</p> <p>○利用者からのニーズについては、関係機関に確実に伝達するような連携体制を構築します。</p> <p>○市民に対して福祉サービスについての的確な情報発信を行い、現状の福祉サービスについての正しい理解を深めることに努めます。</p>	<p>○地域ケア会議等において、地域の方から広く意見を頂き、関係者間で情報の共有を図りました。〔再掲〕</p> <p>○「介護保険運営協議会」において、利用者からの意見を頂き、市と事業者間で情報の共有を図りました。</p> <p>○ホームページやパンフレット、『介護保険の手引き』、『障がい者福祉ハンドブック』などの冊子により、福祉サービスの周知を図りました。〔再掲〕</p>	<p>○福祉サービスの質の向上につながるよう、利用者からのニーズの把握に努めるとともに、ニーズを踏まえた事業を推進します。</p>	<p>○寄せられた要望・苦情について、事務局内で共有し、業務の改善を図るとともに、第三者委員である苦情解決委員に報告を行いました。</p>	<p>○福祉サービスやサービス提供事業者の情報に関心を持ち、自分に合った福祉サービスの選択に心がけます。(市民)</p> <p>○福祉サービスを利用して気づいた点等があれば、サービス提供事業者に伝えるよう努めます。(市民)</p> <p>○住民間で福祉サービスや提供事業者に関する情報交換等を行えるよう、住民同士の交流機会の創出に努めます。(地域の各種団体)</p> <p>○利用者一人ひとりを尊重したサービスの提供を心がけるとともに、利用者ニーズに即した更なるサービスの向上に努めます。</p> <p>○福祉サービスの向上につながるような人材育成や職場環境の向上に努めていきます。(福祉サービス事業者等)</p>	<p>○地域ケア会議は、事業者が地域住民や各種団体と話し合える場なので出席することができよかった。〔再掲〕</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

<p>基本目標5に係る評価 (令和元年度)</p>	<p>複雑化・複合化している地域生活課題に対応できるよう、『生活困窮者自立支援連携連絡会議』のような部局間連携に引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>地域包括支援センターと地域の関係性が構築され、本来業務以外の相談も寄せられている状況があることから、今後、地域における相談体制の在り方について検討願いたい。</p> <p>福祉サービスの情報発信や利用者の声を事業者に伝え、支援の必要な人が適切な福祉サービスを利用できるよう引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>昨年度と比較し『日常生活自立支援事業（あんしんサポート事業）』の契約者数が減少しているが、利用を希望している人が多いことから、社協は体制の強化を図られたい。</p>
-------------------------------	--

会津若松市地域福祉計画評価シート（重点的な取組）

1. 地域福祉活動の基盤となる地域の仕組みづくりの推進

取組項目	令和元年度の取組
(1) 地域住民の参画による地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○社協と連携し、地区社協の組織化に向けた取組と地区社協の活動を支援しました。 ○一箕地区の地域共生社会の実現に向けた勉強会『おらがのまちづくり』を共同で開催し、地域住民の参画による地域づくりの支援を行いました。
(2) 地域を支える人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活動等に主体的に取り組むことのできる人材の育成を図る『ボランティア講座』、住民と行政の協働を担うコーディネーターの育成を図る『コーディネーター研修会』を実施しました。
(3) 社会的孤立の防止	<ul style="list-style-type: none"> ○孤立死防止リーフレット『地域の見守りが孤立死を防ぎます』による啓発、高齢者の見守り活動を行う門田・大戸地区見守り協議会『Sun3 ネット』の設立支援に取り組みました。 ○『あいづわかまつ地域福祉を考えるフォーラム』を開催し、社会的に孤立している方を地域で支えることをテーマに講演会を実施しました。
(4) 権利擁護の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者等の権利擁護への関心を高めるため、成年後見制度の普及啓発の研修会を開催しました。 〔入門編 18 名受講・応用編 25 名受講〕
(5) 各種団体間の協力体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ○社協とともに地域包括支援センターや区長、民生委員、高齢者福祉相談員、福祉事業者などが参加する地域ケア会議・地区協議会、福祉事業者などによる専門職ケア会議に参加し、相互に連携し、地域の見守り・支援体制づくりを推進しました。
(6) 企業・事業所への啓発活動等による環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○会津若松商工会議所などの経済団体を通じ、地域福祉活動への企業の参加と、従業員が参加しやすい職場環境づくりを要請するとともに、地域福祉活動に取り組む事業所の事例紹介をしました。 ○専門職ケア会議において、社会福祉法人による『地域における公益的な取組』の啓発を行いました。

重点的な取組の評価

地域福祉活動は、活動を支える人材や組織が重要となることから、教育機関や社会福祉協議会との連携による人材育成、庁内連携による地域の仕組みづくりに継続して取り組んでいただきたい。

社会的孤立の防止や権利擁護の推進に向けては、これまでの取組を継続するとともに、保護司や会津若松地区雇用主会との連携による矯正施設退所者の支援の取組、成年後見制度利用促進計画の策定に期待する。

地域からは、企業や企業に勤務する人の地域福祉活動への参加が切望されていることから、地域福祉活動への企業の参加や支援、従業員が参加しやすい環境づくりに向けて、他の企業の事例を示すなど、企業の協力に向けて継続して取り組まれない。また、社会福祉法人の責務である『地域における公益的な取組』が地域のニーズを踏まえた取組になるよう指導及び支援をお願いしたい。

会津若松市地域福祉計画評価シート（重点的な取組）

2. 災害時避難行動要支援者に対する日常的な見守り体制

取組項目	令和元年度の取組
(1) 災害時避難行動要支援者の把握方法について	○住民基本台帳や高齢者、障がい者等に関する情報を基に、災害時避難行動要支援者の把握を図りました。
(2) 災害時避難行動要支援者情報の共有及び更新方法について	
①関係機関間の情報共有方法	○災害時避難行動要支援者の近隣支援者や緊急時連絡先などの情報を収集し、災害時避難行動要支援者名簿を作成しました。 ○災害時避難行動要支援者名簿の配付に同意した人の名簿を、避難支援等関係者（警察署、消防署、町内会、民生委員等）に提供しました。
②情報の更新方法	○新たに災害時避難行動要支援者になった人、前回調査時に名簿配付に同意しなかった人に名簿配付の同意に取り組みました。
(3) 災害時避難行動要支援者の支援について	
①日常的な見守り活動や助け合い活動の推進方策	○社協とともに地域包括支援センターや区長、民生委員、高齢者福祉相談員、福祉事業者などが参加する地域ケア会議等において、各者が連携し、地域の見守り・支援体制づくりを推進するとともに、地域防災の研修や災害に備えた日々の取組、取組に向けての課題等について話し合いを行いました。
②緊急対応に備えた役割分担と連絡体制づくり	○自主防災組織設立に向けた補助制度の創設と、出前講座による地域防災の啓発を図りました。
重点的な取組の評価	
<p>「令和元年東日本台風」においては、地域により支援の取組に温度差がみられた。防災には多くの人に関心を寄せていることから、防災を切り口に支え合い活動の推進や自主防災組織の設立に向けた支援を継続して取り組まれない。</p> <p>地域における災害時避難行動要支援者の個別計画の策定に当たっては、地域だけでは難しいとの声もあることから、市としての支援の在り方について検討いただきたい。</p>	

会津若松市地域福祉計画評価シート（重点的な取組）

3. 生活困窮者自立支援の取組

取組項目	令和元年度の取組
(1) 生活困窮者の把握方法について	<p>○早期発見、早期支援のため、社協、民生委員、地域包括支援センター、ハローワークや教育機関など関係機関との連携・情報共有を図るとともに、市の組織横断的な『生活困窮者自立支援庁内連携連絡会議』を開催して生活が苦しい人に関する情報把握に努めました。</p> <p>○各地区の公民館において、出張相談会を実施するなど、早期発見への取り組みに努めました。</p>
(2) 自立支援のための各種支援について	<p>○生活困窮者自立支援制度に基づき、必須事業として、生活困窮に係る様々な相談を受け付け、自立に向け支援を行う『自立相談支援事業』の実施や、住居の確保と就労自立を図るため『住居確保給付金』の支給を行いました。</p> <p>また、任意事業として、就労に向けた基礎能力の形成や改善が必要な方を対象とした『就労準備支援事業』や、生活困窮世帯の子どもを対象とした『学習支援事業』を実施しました。</p>
(3) 生活困窮者への支援を通じた地域づくりのあり方	<p>○生活困窮の一因となり得るひきこもりの早期把握、早期支援につなげるため、関係機関や専門機関を構成メンバーとした『市ひきこもり支援連携会議』を開催し支援体制の強化を図りました。また、『ひきこもり支援講演会』、『ひきこもり支援座談会』等の開催等により、支援者の知識を深め、専門性の向上に努めました。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">ひきこもり支援講演会</div> </div> <p style="margin-left: 20px;">テーマ：福島県精神障がい者アウトリーチ推進事業でみられるひきこもりについて</p> <p style="margin-left: 20px;">講師：福島県立医科大学医学部神経精神医学講座講師 後藤 大介氏</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">ひきこもり支援座談会</div> </div> <p style="margin-left: 20px;">講師：NPO 法人若者就職支援協会 黒沢一樹 氏</p>
重点的な取組の評価	
<p>庁内連携による支援については、各所属から『生活サポート相談窓口』に生活困窮を心配される方がつながれているなど一定程度の成果が表れていることから、継続して取り組まれない。</p> <p>生活に苦しい人の早期発見、早期支援に向けて、相談窓口の広報強化、アウトリーチ（地域に出向くこと）の手法等による連携強化を期待したい</p>	

会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート(重点事業)

項目	令和元年度の取組	評価
1 地区社会福祉協議会の設立・運営支援 ～地域の自助・互助力の強化～	<p>○『地区社協』の組織化に向けて、地域住民や地区区長会、地区民生児童委員協議会、既存の各種団体などに組織化を働きかけ、湊地区においては4月に『みんなと湊まちづくりネットワーク』、河東地区においては10月に『河東ふれあいネットワーク』が設立されました。</p> <p>○他地区においても、地区区長会、地区民生児童委員協議会、既存の各種団体等の中で、支え合い仕組みづくりについて協議を重ねました。</p>	<p>『地区社協』の組織化が推進され、設立されたが、今後も地区社協の必要性について、住民主体の活動であること、地域住民それぞれが役割を持ち、支え合う仕組みづくりであることの周知を図られたい。設立された地区社協への引き続き、運営支援に努められたい。</p>
2 身近な相談窓口の開設 ～相談・生活支援体制の充実～	<p>○『社協だより』、ホームページ、SNS、新聞等多様な広報周知を行ったほか、地域に出向いて、出前相談等を行いました。</p> <p>○民生委員児童委員協議会理事会・各地区定例会、地域ケア会議等への参画を通して各機関との支援ネットワークの構築を図りました。</p>	<p>広報・ホームページ・SNSなどに情報発信。生活課題を抱えた住民に対して、相談から解決に至るまで方向性を明らかにしながら、他機関とも連携し、更なる相談支援体制の確立と周知を図られたい。</p>
3 地域支援コーディネーターの育成・配置	<p>○地域住民が、生活課題の解決に向けた取り組みを進めるため、地域福祉活動の組織化や関係者間の連携、サロンの活動を支援し、地域住民の主体的な福祉活動へのサポートを職員が行いました。</p>	<p>地域の中で、困りごとや支援を必要とする人を把握し、課題の解決に向けて、行政、専門機関、ボランティア等をつなぐ役、調整役を担うとともに、地域住民や関係機関と連携し、地域支援コーディネーターの人材育成・確保を図られたい。</p>
4 多様なネットワークの構築 ～新たな協働事業の創出～	<p>○『ボランティア学園』の運営の継続や小中学校向け『出前福祉体験教室』の開催など関係機関と連携した地域福祉・ボランティア活動の推進を図りました。</p> <p>○社会福祉法人による社協と施設の連携による「地域における公益的な取組」推進モデル事業として、市内に8カ所ある認知症カフェの連絡会を取り組みました。</p>	<p>『ボランティア学園』やボランティアのマッチング事業に取り組み、多様な機関との連携を深め、市民が主体的に参加できる環境づくりに努められたい。</p> <p>「社会福祉法人の地域における公益的な取組」が責務となっていることから、今後も社会福祉法人との連携による取組を図られるよう、支援を行っていただきたい。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画全体評価

<p>全体評価 (令和元年度)</p>	<p>令和元年度は、『地域福祉計画』、『地域福祉活動計画』の策定から4年が経過し、地域において関係機関による地域課題の共有化が図られてきた。</p> <p>昨年も新たな『地区社協』の組織化や『Sun3 ネット』の設立、『ふれあい・いきいきサロン』数が大きく増加するなど、一部の地域においては地域生活課題の解決に向けた取組が進められているが、一方では、取組までに至っていない地域もある。</p> <p>そのような中、新型コロナウイルス感染症により生活環境が一変し、感染拡大防止に向けて「新しい生活様式」が国から示されるなど、これまでのような生活を行うことは難しい状況になっている。</p> <p>市や社協は、国の「新しい生活様式」を踏まえながらも、地域福祉活動に取り組めるよう支援に努められたい。</p> <p>基本目標5「福祉サービスの充実した地域づくり」の中で「相談体制の充実・強化」が掲げられているが、「地域福祉を考えるアンケート」からは、本来相談したいと考える市を始めとした専門機関につながっていない状況にある。相談により適切な福祉サービスにつなぐこととなるため、相談体制の充実に取り組まれたい。</p> <p>重点的な取組3「生活困窮者自立支援の取組」においては、新型コロナウイルス感染症により経済状況の先行きが不透明であり、これまで以上に自立に向けた支援が重要になっている。このような中、現在の庁内連携による取組が、一定程度の成果が表れていることから、自立に向けたこれまでの取組を継続されたい。</p> <p>地域福祉活動計画重点事業1「地区社会福祉協議会の設立・運営支援」については、平成31年4月に湊地区に『みんなと湊まちづくりネットワーク』が、令和元年10月には河東地区に『河東ふれあいネットワーク』が組織化されたが、既に組織化された地域を含め4地区にとどまり、地域も中心市街地以外の地域となっている。</p> <p>令和2年度は、計画期間の最終年となることから、組織化へ至っていない地区への働きかけや組織化に向けた支援に努め、組織化につなげられたい。</p> <p>基本目標3の地域福祉活動の実態調査結果の中に、地域の認知症高齢者のごみ出しトラブルが発生し、解決に向けての地域の中での話合いで、子供の家での生活を促すなどの地域からの排除ではなく、自分たちがもう少しだけ支援することで本人が望む地域での生活ができることを導き出した地域があった。地域福祉計画の基本理念は『誰もが安心して暮らせるよう地域で支え合うあいづわかまつ』であることから、このような地域が増えるよう、市や社協は、区長会や地域の各種団体と連携し地域福祉推進の取組を進めていただきたい。</p>
-------------------------	--

会津若松市地域福祉計画等推進会議委員名簿

No.	所属団体・役職	氏名	No.	所属団体・役職	氏名
1	公立大学法人会津大学 短期大学部幼児教育学科准教授	鈴木 勲	16	会津若松市赤十字奉仕団 副委員長	吉田 義子
2	福島県司法書士会会津支部	遠藤 希	17	会津若松市ボランティア連絡協議会 庶務	熊田 洋子
3	会津若松地区保護司会	佐々木 久恵	18	みんなと湊まちづくりネットワーク 生活福祉部会長	坂内 美智男
4	会津若松市区長会 更生副部長	北野原 進	19	北会津地域づくり委員会 会長	成田 源一郎
5	会津若松市民生児童委員協議会 理事	古川 純夫	20	河東地域づくり委員会 会長	岩渕 澄男
6	会津若松市社会福祉協議会 事務局次長	平野 淳子	21	公益社団法人会津若松医師会 理事	新井田 有耕
7	会津若松市地域自立支援協議会 会長	渡部 淳	22	会津若松市保健委員会 会長	中丸 茂由
8	会津若松市手をつなぐ親の会 会長	渡部 香世子	23	会津若松市立小中学校長協議会 大戸小学校 校長	二瓶 悦子
9	公益社団法人認知症の人と家族の会 福島県支部会津地区会 代表	阿久津 恵子	24	会津若松市父母と教師の会連合会 会長	齋藤 敏浩
10	会津若松市地域包括支援センター連絡会 若松第5包括支援センター 管理者	田中 真由美	25	会津若松商工会議所 総務部長	山崎 雄一郎
11	会津若松市保育所連合会 副会長	愛澤 裕美子	26	会津若松市商店街連合会 会長	羽金 興八
12	会津若松市幼児教育振興協会 北会津こどもの村幼保園 園長	最上 学	27	会津よつば農業協同組合 あいづ西部営農経済センター長	白川 浩二
13	一般社団法人福島県若年者支援センター 執行役員統括責任者	平野 右智	28	福島県会津保健福祉事務所 副所長兼総務企画部長	本田 邦之
14	男女共同参画推進活動ネットワーク 真珠の会 会計監査	加藤 宏子	29	市民公募	角田 康雄
15	NPOLinks あいづ 共同代表	山口 巴	30	市民公募	岡野 文江